

<アンケート>

B 支援学校、支援学級における自立活動の実際 ～新学習要領にも対応できる取り組み
箕面支援学校 校長 早野 眞美先生、リーディングスタッフ 植野 耕司先生 平山
雄大先生 佐藤 学先生

- ・ とてもよかったです。
- ・ (平山先生の発表)映像や画像も多くなり、とてもわかりやすい内容でした。もっと自分も勉強しようと思いました。
- ・ (植野先生の発表)「楽しい！」からこそ「続けられる」(大人も子どもも)と思うので、自立活動の根底として「楽しい！」は大切だと思いました。
- ・ (佐藤先生の発表)「自立活動と I C F の関係」がとても興味深かったです。具体例を教えてください、とてもわかりやすかったです。
- ・ 初めて参加させて頂きましたが、とても具体的、また多方面からの説明でとても参考になりました。(支援学校・高等部)
- ・ 科学的な見方から具体的な事例まであり、とてもわかりやすかったです。今は通常学級担任で担当する子どもたちにつながる内容ではないですが、通常学級担任こそ特別支援についての知識や技能のひき出しをたくさん持つておくべきだと思っています。(以前は支援学級担任をしていたこともあります)やはり支援学校で勤務されている先生方のお話は最先端で初めて聞くことが多かったです。アプリや教具の紹介や子どものアセスメントの方法など勉強になることばかりでした。
- ・ 「自立活動とは？」ということから、実際の支援学校でのとりくみについて詳しくお話を聴くことができとても参考になりました。(小学校・通級指導)
- ・ 自立活動について具体的な指導内容を知ることができました。参加できてよかったです。(小学校・通常学級)
- ・ 自立活動で何か新しく取り組むことをしなくても、今取り組んでいることを整理し、見直していくことから始めたいと思いました。たくさんのおアドバイスがもらえました。(小学校・支援学級)
- ・ 本校を含め、京都府では、自立活動のあり方がこれまでと大きく変わろうとしている中で(担任の立ち位置も)なにか参考にできることがあれば…と思い参加させていただきました。「教育活動全体を通じて」あるいは「あわせて指導」の中で6区分の視点をもって行っている、としたり、「時間の指導」であっても決まったように(吟味されずに)自立課題を行うだけであったりするような流れになっていて“自立活動の充実”とうたっているのに逆に薄まっていかないか危惧しています。(本校が)いかに一人ひとりに応じて目標や内容を考えていくか、ということ共有していくことが課題に感じていて、今回聞かせて頂いたことを参考に、改めて何ができるかどのように捉えるか考えなおしたいと思います。(支援学校・その他)

- 例をあげていただき、詳しいお話や最近の研究によるものなど本当に良い発表を聞かせていただき、勉強になりました。(中学校・支援学級)
- 今日貴重なお話を聴かせていただきありがとうございました。自立活動をそれぞれの障がいに対して講演頂き、楽しく活動する手立てを教えてくださいました。
- 支援学校の自立活動の考え方について色々なやり方を教えてもらい勉強になった。たしかに「これは正解！」というものはないのだろうが、こちら手探りの状況なので、非常に助かりました。さっそく自分の学校で実践してみたいと思った。(小学校・支援学級)